

宇部市下水道事業業務状況報告書

平成30年度上期分

平成 30 年 4 月 1 日 から

平成 30 年 9 月 30 日 まで

1 業務の概況

平成30年度上期の総処理水量は11,445,473 m^3 、有収水量は6,234,063 m^3 でした。

上期の建設改良事業につきましては、玉川ポンプ場の建設事業をすすめるとともに、老朽化した施設の改築更新、汚水の面整備に取り組みました。

(1) 汚水整備戸数、汚水整備人口

(平成30年9月30日)

区分	30年度予算 (A)	上期分実績 (B)	執行率(%) (B)÷(A)	差引 (A)－(B)
汚水整備戸数(戸)	39	0	0.0	39
汚水整備人口(人)	88	0	0.0	88

(2) 処理状況

(平成30年9月30日)

区分	30年度予算 (A)	上期分実績 (B)	執行率(%) (B)÷(A)	差引 (A)－(B)
総処理水量(m^3)	21,992,000	11,445,473	52.0	10,546,527
一日平均処理水量(m^3)	60,252	62,544	—	—
有収水量(m^3)	12,325,000	6,234,063	50.6	6,090,937

2 経理の状況

(1) 予算の執行状況

イ 収益的収入及び支出 収 入

款	項	目	30年度 予算額(A)	上期分 執行額(B)	執行率 (B)/(A)	差引 (A) - (B)
			千円	千円	%	千円
下水道 事業収益			6,124,887	3,076,691	50.2	3,048,196
	営業収益		3,053,752	1,548,589	50.7	1,505,163
		下水道 使用料	2,270,362	1,152,508	50.8	1,117,854
		他会 負担 金	783,360	396,000	50.6	387,360
		その 営業 収益	30	81	270.0	△ 51
	営業 外 収益		3,071,125	1,528,046	49.8	1,543,079
		受取 利息 及び 配当 金	350	260	74.3	90
		他会 負担 金	685,355	348,000	50.8	337,355
		他会 補助 金	202,042	102,000	50.5	100,042
		長期 前受 金入 戻	2,120,140	1,060,068	50.0	1,060,072
		雑 収 益	63,238	17,718	28.0	45,520
	特別 利益		10	56	560.0	△ 46
		過 年 度 損 益 修 正	10	56	560.0	△ 46
収 入 計			6,124,887	3,076,691	50.2	3,048,196

(注) 消費税及び地方消費税込

支 出

款	項	目	30年度 予算額(A)	上期分 執行額(B)	執行率 (B)/(A)	差引 (A) - (B)
			千円	千円	%	千円
下水道 事業費用			5,578,000	2,411,072	43.2	3,166,928
	営業費用		5,164,321	2,239,145	43.4	2,925,176
		管 渠 費	152,176	50,028	32.9	102,148
		ポンプ場費	221,495	88,646	40.0	132,849
		処 理 場 費	697,217	280,415	40.2	416,802
		萩原団地 汚水処理施設費	6,372	2,001	31.4	4,371
		総 係 費	224,558	81,118	36.1	143,440
		減価償却費	3,473,851	1,736,922	50.0	1,736,929
		資産減耗費	388,652	15	0.0	388,637
	営業外用		401,520	171,342	42.7	230,178
		支払利息及び 企業債取扱諸費	340,920	171,342	50.3	169,578
		消費税及び 地方消費税	60,000	0	0.0	60,000
		雑 支 出	600	0	0.0	600
	特別損失		1,500	585	39.0	915
		過年度損益 修正損	1,500	585	39.0	915
	予備費		10,659	0	0.0	10,659
		予 備 費	10,659	0	0.0	10,659
支出計			5,578,000	2,411,072	43.2	3,166,928

(注) 消費税及び地方消費税込

ロ 資本的収入及び支出
収 入

款	項	目	30年度 予算額(A)	上期分 執行額(B)	執行率 (B)/(A)	差引 (A) - (B)
			千円	千円	%	千円
資本的収入			5,235,592	506,196	9.7	4,729,396
	企業債		2,332,000	0	0.0	2,332,000
		企業債	2,332,000	0	0.0	2,332,000
	出資金		408,286	210,000	51.4	198,286
		他会計 出資金	408,286	210,000	51.4	198,286
	補助金		2,474,006	272,000	11.0	2,202,006
		国庫補助金	2,474,006	272,000	11.0	2,202,006
	受益者 負担金		21,300	24,196	113.6	△ 2,896
		受益者 負担金	21,300	24,196	113.6	△ 2,896
収入計			5,235,592	506,196	9.7	4,729,396

(注) 消費税及び地方消費税込

※平成29年度繰越事業に充当する財源は、企業債及び国庫補助金に含まれています。

支 出

款	項	目	30年度 予算額(A)	上期分 執行額(B)	執行率 (B)/(A)	差引 (A) - (B)
			千円	千円	%	千円
資本的支出			7,786,321	1,685,692	21.6	6,100,629
	建設改良費		5,515,417	577,283	10.5	4,938,134
		管渠事業費	3,537,183	518,843	14.7	3,018,340
		処 理 場 事 業 費	1,951,676	57,124	2.9	1,894,552
		受 益 者 負 担 金 徴 収 事 務 費	682	0	0.0	682
		固 定 資 産 購 入 費	25,876	1,316	5.1	24,560
	企 業 債 還		2,265,300	1,108,401	48.9	1,156,899
		企 業 債 還	2,265,300	1,108,401	48.9	1,156,899
	投 資		10	8	80.0	2
		そ の 他 投 資	10	8	80.0	2
	予 備 費		5,594	0	0.0	5,594
		予 備 費	5,594	0	0.0	5,594
支 出 計			7,786,321	1,685,692	21.6	6,100,629

(注) 消費税及び地方消費税込

※平成29年度からの繰越事業分は、管渠事業費及び処理場事業費に含まれています。

(2) 財務諸表

イ 損益計算書

(平成30年4月1日から同年9月30日まで)

	営業費用 2,218,902千円 74.2%	営業収益 1,463,218千円 48.9%	
営業外費用 171,342千円 5.8%		営業外収益 1,526,794千円 51.1%	
特別損失 545千円 0.0%	当期純利益 599,275千円 20.0%		特別利益 52千円 0.0%

(注) 消費税及び地方消費税抜

ロ 貸借対照表

(平成30年9月30日)

	固定負債 30,344,592千円 30.5%	流動負債 1,655,082千円 1.7%
固定資産 95,892,544千円 96.6%	繰延収益 46,566,517千円 46.9%	
流動資産 3,392,001千円 3.4%	資本金 16,476,156千円 16.6%	剰余金 4,242,198千円 4.3%

(注) 流動資産のうち、仮払消費税及び地方消費税 55,517千円

流動負債のうち、仮受消費税及び地方消費税 86,626千円

3 平成 29 年度決算の内容

平成 29 年度の下水道事業の運営については、快適な生活環境の確保、公共用水域の水質保全及び雨水浸水被害の軽減を図るため、施設の維持管理及び計画的かつ効率的な施設整備等を実施しました。主な事業としては、東部浄化センター5,6 系水処理電気設備設置工事、西海岸通り合流幹線(改築)工事、五十目山雨水幹線工事、汚水の面整備等を実施しました。

汚水処理状況については、汚水整備戸数が 41 戸(前年度比 33.1%)で、普及率は 81.1%となり、年間総処理水量は 20,958,655 m³(前年度比 93.5%)で、有収水量は 12,427,512 m³(前年度比 99.5%)となりました。

経営成績については、事業収益は 5,645,269 千円に、事業費用は 5,138,673 千円となり収支差引の結果、当年度純利益は 506,596 千円に、また、当年度未処分利益剰余金は 806,596 千円となりました。

一方、資本的収支については、収入 2,630,881 千円(翌年度繰越工事財源 446,856 千円を除く)、支出 4,963,309 千円となり、差引不足額は、2,332,428 千円となりましたが、これは、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 79,034 千円、繰越工事資金 253,786 千円、減債積立金 200,000 千円、建設改良積立金 100,000 千円、過年度分損益勘定留保資金 71,475 千円及び当年度分損益勘定留保資金 1,628,133 千円で補てんしました。

以上が平成 29 年度の事業概況であります。今後の事業運営にあたりましては、経営の健全化に努めながら、老朽化した施設の改築更新を計画的かつ効率的に推進してまいります。